

しらさぎ24訪問介護看護ステーション
第3期 第5回 介護・医療連携推進会議 報告書

開催日時	令和 2年3月13日 (金) 文書配布										
出席者 (一)名	※新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から、今回は会議を開催せず書面での報告とした。										
討議期間	令和 元年 11月 10日 ~ 令和 2年 3月 10日										
利用状況 (令和 2年 3月10日現在)	<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 50%;">現在利用者数 (26)名</td> <td style="width: 50%;">延べ利用者数 (99)名</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">要介護1… 9名</td> <td style="text-align: center;">要介護2… 9名</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">要介護3… 4名</td> <td style="text-align: center;">要介護4… 2名</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">要介護5… 2名</td> <td style="text-align: center;">申請中… 0名</td> </tr> <tr> <td colspan="2"> <ul style="list-style-type: none"> ・新規利用開始… 6件 ・利用終了… 6件 ・訪問看護(連携型)利用… 8件 (医療保険での訪問看護… 6件) </td> </tr> </table>	現在利用者数 (26)名	延べ利用者数 (99)名	要介護1… 9名	要介護2… 9名	要介護3… 4名	要介護4… 2名	要介護5… 2名	申請中… 0名	<ul style="list-style-type: none"> ・新規利用開始… 6件 ・利用終了… 6件 ・訪問看護(連携型)利用… 8件 (医療保険での訪問看護… 6件) 	
現在利用者数 (26)名	延べ利用者数 (99)名										
要介護1… 9名	要介護2… 9名										
要介護3… 4名	要介護4… 2名										
要介護5… 2名	申請中… 0名										
<ul style="list-style-type: none"> ・新規利用開始… 6件 ・利用終了… 6件 ・訪問看護(連携型)利用… 8件 (医療保険での訪問看護… 6件) 											
(1)報告事項	<p>◎現状報告</p> <p>[相談]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・期間中21件：ターミナル期の短期利用、要介護1～2の排泄介助+生活援助の相談が多くあった。 <p>[人員体制]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・訪問看護業務委託先2事業所増（アセスメントのみ1/契約後実動未定1） ・11月～常勤職員1名減（補填なし） ・チームメイト事業所増減なし <p>[利用者]</p> <p style="text-align: center;">11月 26名 / 12月 28名 / 1月 27名 / 2月 27名 / 3月 27名</p> <p style="text-align: center;">※今年度目標「月平均利用者数24名」以上を維持している</p> <ul style="list-style-type: none"> ・体調が悪化している状態で利用開始して短期間で逝去、というケースが多くあったのは前回と同様。 <p>[課題]</p> <ol style="list-style-type: none"> ① 要介護度が低い利用者の援助内容等の変更が頻回にあり、固有職員、登録ヘルパー、チームメイト、連携訪問看護の間での情報共有、周知が、難しくなっており、対策を講じる必要がある。 <p>[前回課題の取組・結果]</p> <ol style="list-style-type: none"> ① 固有職員数減という状況下でのスケジュール調整に工夫が必要。 →以前からの継続的な課題。登録ヘルパーやチームメイトヘルパーの稼働増、訪問曜日や回数等のプラン見直しで改善傾向。ただし朝・夕（特に朝）はもう一段の改善が望まれる状況。 ② 今年度目標、月平均24名利用の達成のため営業活動の検討。 →現在の主な稼働エリア内を集中的に営業活動実施した結果、しらさぎホームに近い該当エリア内の相談が増加している。 また①の結果、人員減の状況下でも「月平均利用者数24名」の維持はできている。 <p>[今後の取組]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・利用者数維持のため、主な稼働エリア内に集中した営業活動の継続。 ・人員(オペレーター・訪問員・登録ヘルパー)確保の方策の検討。 ・職員の資質、サービスの質の向上に向けた研修の強化。 ・次年度の月平均利用者目標数の達成、維持に向けた取組みの具体化。 										

しらさぎ 24 訪問介護看護ステーション
第 3 期 第 5 回 介護・医療連携推進会議 報告書

<p>(2)苦情、意見等</p> <p style="text-align: right;">1 件</p>	<p>[問合せ]</p> <p>チームメイトヘルパーが家族から依頼された援助を「通常この時間帯に行っていない内容」「規定の滞在時間内には終わることができない」との理由で行わず、家族不在のためメモを残して退出。同日夜間に家族から「事業として対応不可なのか、時間帯の問題なのか。」との問い合わせあり。当該ヘルパーからの報告はなく状況把握ができていなかった。</p> <p>→事業(制度)として対応可能な内容であったため、今後同様のことがあった場合は時間延長、随時訪問、援助内容等の調整で対応する旨回答し謝罪。</p> <p>併せて全チームメイト事業所を対象に本事業の特性等について再周知を図り、同様の状況になった場合はまずしらさぎ 24 に相談するよう申し入れる。</p>
<p>(3)事故等</p> <p style="text-align: right;">1 2 件</p> <p>※右記は事故抜粋</p> <p style="text-align: right;">2 件</p> <p>ヒヤリハット</p>	<p>【 服薬 】 5 件</p> <p>1)インスリン注射の単位数間違い。介助者の記憶が曖昧で本人の間違った主張を鵜呑みにしてしまった。</p> <p>→見やすい場所に正しい数値を掲示。迷ったら実施前に相談・確認を指導。</p> <p>2)薄暗い中確認が不十分で、追加処方された薬を取り出し忘れ、1錠未内服。</p> <p>→薬剤師に一包化を依頼。介護システムの機能で全職員の端末に薬の変更情報を一斉通知することとした。</p> <p>3)上記 2)の翌々日、想定外の援助の必要に焦って気を取られ、別の職員が同じミスを繰り返した。一包化は間に合っていなかった。また、職員間の情報共有は口頭伝達のみで、一斉通知は提案後実行されていなかった。</p> <p>→薬剤師に状況確認すると「次週対応予定」との回答だったため、即時対応してもらおう。システムの一斉通知を即時運用開始。想定外の事態があったら、焦らずに他の職員と相談してスケジュール調整して時間的余裕を作る。</p> <p>4)継続して服用中の薬の追加処方があり、翌日からの分と思い、看護師に報告の上で翌日から服用開始したところ実際は翌々日からの分ので、1日重複して服用した。連携・連絡の中で、それぞれが確認不十分となり連鎖的なミスとなった。</p> <p>→薬局での一包化の際、薬袋に日付印刷をすることで不確定要素を排除した。</p> <p>5)本人が「後で飲む」と言ったので任せたとこ服用せず。</p> <p>→その場で必ず服薬してもらい、完了確認を徹底。</p> <p>【転倒】 2 件</p> <p>段差の歩行移動介助中に利用者がバランスを崩し、職員が支え切れず転倒。下肢に打撲と擦過傷。本人の ADL 低下、下肢の浮腫等で靴がきちんと履けていないことへの対応策が不十分だった。</p> <p>→車椅子乗車で段差を越える介助に変更。必要に応じて 2 人介助。</p> <p>【物損】 2 件</p> <p>【不参】 3 件</p>

しらさぎ24訪問介護看護ステーション
第3期 第5回 介護・医療連携推進会議 報告書

(4)その他	※次回 第3期 第6回は今期の最終回となる。
次回開催予定	・令和 2年 7月 15日頃